

恩給法の一部を改正する法律案特別委員會議事速記録第三號

(1011)

付託議案

○恩給法の一部を改正する法律案

○帝國議會各議院の議長、副議長及び
職員の手當に關する法律案

昭和二十一年九月五日(木曜日)午後
一時三十九分開會

○委員長(男爵周布兼道君) 開會致シ
マス、前會ニ引續キマシテ御質問ヲ願
ヒマス

○長島銀藏君 昭和二十一年二月ニ出
タ勅令第六十八號ノ内容ヲ此ノ際政府
委員カラチヨット御尋ネシタイノデゴ
ザイマス

○政府委員(三橋則雄君) 昭和二十一
年勅令第六十八號ハ、是ハ御承知ノ昨
年十一月二十四日聯合國最高司令官カ
ラ日本政府ニ對シマシテ發セラレマシ
タ「ペンション・アンド・ベニフィツ
ツ」ト云フ、所謂恩給給與ニ關シマス
ル指令ニ基キマシテ、所謂軍人等
ノ恩給ヲ廢止スルコトナリマシタ、
其ノ爲ニ制定セラレマシタ所ノ勅令
デゴザイマス、此ノ内容ヲ申上デマ
スルノハ、此ノ指令ニ基キマシテ執
リマシタ所ノ措置ト關聯シマシテ、
内容ヲ申上デ方宜イカト思ヒマ
スルノデ、チヨットソレヲ申上デテ
置キマス、昨年十一月二十四日聯合
國最高司令官カラ日本政府ニ對シマシ
テ發セラレマシタ恩給ニ依リマシテ、
去ル二月一日カラ軍事の勤務ニ依リ
給ハ、之ヲ廢止スベキ命ジラレ、唯恩
給支給者ノ勞働能力ヲ制限スルガ如キ
肉體の障害ニ對シマスル保障の給與ニ付
キマシテハ、之ヲ支給スルコトハ差支

第四部第十七類 恩給法の一部を改正する法律案特別委員會議事速記録第三號

昭和二十一年九月五日【貴族院】

ナイガ、其ノ程度ニ付キマシテハ、非
軍事の原因ニ依リ當初ノ肉體の障害ニ
對スル保障の給與ノ最低キモノヨリ
モ高率ナラザル程度ニ於テ支給スベキ
コトヲ命セラレタノデアリマス、之ニ
依リマシテ、傷病軍人ニ對シテ出サレ
テ居リマシタ所ノ恩給ニ付キマシテ、
全面的ニ檢討ヲ加ヘマシテ、從來出シ
テ居リマシタ所ノ增加恩給ノ第六項症
以上ノ者ニ付キマシテハ、其ノ全額ヲ
減額致シマシテ、支給スルコトニ致
シ、增加恩給ノ第七項症ト傷病年金、
是ハ全部從來ハ年金デゴザイマシタ
ガ、之ヲ一時金ニ改訂致シマシテ、從
來通り繼續シテ出スコトニ致シマシ
タ、ソレカラ傷病年金ト云フノガゴザ
イマス、是ハ一時金デゴザイマス、此
ノ傷病年金ハ第一目症、第二目症、第
三目症、第四目症ト四ツニナツテ出サ
レテ居リマシタノデアリマス、其ノ第
三目症ト第四目症ヲ廢止マシテ第一目
症ト第二目症ニ付キマシテハ金額ヲ減
ジマシテ從來通り一時金トシテ支給ス
ルコトニ致シタノデアリマス、ソレカ
ラ今申シマシタ恩給ニ依リマシテ、軍
事の勤務ニ依リ恩給ハ廢止スルコトニ
ナリマシタノデ、從來ノヤウニ軍人ニ
對シマシテ軍事の勤務ヲ理由ト致シマ
スル所ノ普通恩給トカ、或ハ扶助料或
ハ一時恩給一時扶助料ハ出シ得ナクナ
リマシタノデ、是ハ全部將來ハ廢止ス
ルコトヲ致シタノデアリマス、唯從來
カラ出シテ居リマシタモノニ付キマシ
テノ善後措置ト致シマシテハ、從來出
サレテ居リマシタ恩給ノ基礎、在職年

數ノ中ニ軍事の勤務ノ在職年數ヲ基礎
トシマシタ恩給金額ヲ區別サレテ、其
ノ勤務在職年數ヲ除キ在職ガナカツタ
モノト致シマシテ改メテ恩給金額ノ計
算ヲ致スコトニ致シタノデアリマス、
其ノ結果軍事の勤務ノ關係ヲ除キマシ
テ其ノ他ノ公務員トシテノ勤務ノ在職
年數ノ含マレル者ニ付キマシテハ、其
ノ勤務在職年數ヲ斟酌シマシテ、恩給
ヲヤリ得ル者ニ付キマシテハ、ソレハ
ノ公務員トシテノ恩給ヲ出シ得ルヤウ
ナ取扱ヲ致シタノデアリマス、是ガ大
體昭和二十一年勅令第六十八號ノ内容
ノ概略デゴザイマス

○長島銀藏君 有難ウゴザイマス
○伯爵興平昌恭君 私取敢ズチヨット
御聽キ申シタイノハ五十九條ヲ見マシ
テモ「文官ハ毎月其ノ俸給ノ百分ノ二
ニ相當スル金額ヲ國庫ニ納付スベシ但
シ文官ニシテ都府縣又ハ之ニ準ズヘキ
地方經濟ヨリ俸給ヲ受クルモノハ當該
都府縣又ハ之ニ準ズヘキ地方經濟ニ對
シ納付スヘシ」此ノ納付ニ付キマシテ
國庫ニ納付スベキモノト、ソレカラ都
府縣ニ對スル者ノ納付ト云フモノガ、
私ニハ一向マダ分リマセマデシタガ、
ドウ云フ譯デ百分ノ二ニ相當スルモノ
ヲ納付シナケレバナラヌカ、從來ハ
下士官ノ人ニ對シテハ百分ノ一ニ相當
スルト云フコトニナツテ居リマシタ
ガ、今後ハ百分ノ二ニ相當スル金額ヲ
普通國庫ニ納付スベシト、一般的ニ上
カラ下ニ至ル迄ズツトソレデ參リマス
ノデスガ、ドウ云フ譯デサウ云フコトガ
起ルカ、其ノ點ヲ承ツテ見タイト思ヒ

マス、サウシテ五十九條ノ第四項トシ
テ加ヘテアルモノノ中ニ見マス「警
察監獄職ハ之ニ俸給ヲ給スル國庫都府
縣其ノ他ノ經濟ニ對シ毎月其ノ俸給ノ
百分ノ一ニ相當スル金額ヲ納付スヘ
シ」是ハ百分ノ一トナツテ、片方
ハ百分ノ二、其ノ關係ハドウ云フ風ニ
差ガ違ツテ居リマスカ、普通一般ノ文
官ノ方ハ百分ノ二、警察監獄職員ハ百
分ノ一トナツテ居リマスガ、是ハ一體
ドウ云フ譯デアリマスカ

○政府委員(三橋則雄君) 此ノ國庫納
金ハ元々最初ハ文官ダケデアリマシタ
ガ、後デ軍人ヤ警察官ニモ出テ來タヤ
ウナ譯デ、其ノ間ニ沿革的ニ差ヲ設ケ
タヤウナ次第デアリマス

○伯爵興平昌恭君 是デ文官ト警察官
ト納付金ガ違ツテ居ルノハ、警察官ヤ
監獄職員ハ特別ニ危險ナ任ニ服スルカ
ラ斯ウ云フ差ガ出來テ居ルノデアリマ
スカ

○政府委員(三橋則雄君) 警察官ハ軍
人ト全ク同ジデハアリマセヌ、恩給ノ
受給年限ニシテモ一般文官ニ比シテ有
利ナ取扱ヲサレテ居リマス、納金ニシ
テモ初メナカツタモノガ、軍人ニ次ギ
マシテ、後デ百分ノ一ト云フ僅カナ額
ヲ納メルヤウニナツテ居リマス

○大木操君 公職追放令ニ依ツテ退職サ
レタ方ガ、恩給權ヲ持ツテ居ツタ場合
ニ、ソレニ該當スルコトヲ豫期シテ豫
メ辭メタヤウナ場合ニハ恩給權ハ停止
サレナイ、直接該當シテ退官若シクハ
退職シタヤウナ場合ハ既得權ヲ剝奪サ
レルト云フヤウニ聞キマシタガ、其ノ

取扱ハドウナツテ居リマスカ

○政府委員(三橋則雄君) 本年ノ一月
四日聯合國司令部カラ日本政府ニ對シ
テ指示サレタ所謂公職追放令、アノ覺
書ニ依ツテ公職カラ除カレタモノ、ア
ノ覺書ニ該當スル人々ニ付テハ、一月
四日後ノ退職退官者ニ付テハ、恩給ハ
總テ剝奪サレルコトニナツテ居リマス

○大木操君 分リマシタ、其ノ剝奪ト
云フ觀念ハ恩給權其ノモノガナクナツ
テシマフト云フ譯デスカ、恩給權ハナ
クナラナイケレドモソレガ他ノ指令ニ
依ツテ停止サレルト云フヤウナ仕方デ
ゴザイマセウカ、之ヲチヨット伺ヒタ
イト思ヒマス

○政府委員(三橋則雄君) 色々其ノ點
ニ付キマシテハ、議論ガアルト思ヒマ
スルガ、恩給權其ノモノガナクナツテ
シマフヤウニ考ヘテ居リマス

○男爵毛利元良君 恩給ハ國庫カラ支
給サレル扶助料ノ一ツデアリマスガ、
今度生活保護法案ガ成立シマシテ、困
窮者ニ對シテ平等ニ扶助料ガ支給サレ
ルノデアリマスガ、其ノ場合ニ恩給ノ
支給額ト、生活保護法ニ依リ救助額ト
ノ關係、或ハソレニ對スル順位ト云フ
ヤウナモノニ付テ御質問シタイノデア
リマス、ト云フノハ恩給ハ實ツテ居ル
ソレデモ尙生活ガ出來兼ネルト云フ
ノデ保護法ノ方カラモ扶助ヲ戴ケルノ
カ、或ハ恩給ハ恩給トシテ頂戴シテ、
其ノ外ニ保護法ニ依ツテ救助ヲ受ケラ
レルノカト云フコトニ付キマシテ伺ヒ
タイノデゴザイマス

○政府委員(三橋則雄君) 其ノ點ニ付

キヤシテハ私カラ申上ゲルヨリモ、或ハ厚生省ノ委員カラ申上ゲル方ガ宜イカト思ヒマスガ、私ノ恩給ニ關スル限リニ於キマシテ、關係ノ向ト相談致シテ居リマシタ所デ申上ゲマスノデ、或ハ間達ツテ居リマスナラバ、訂正致スカモ分リマセヌ、恩給受給者ガ其ノ恩給ノ金額ガ極メテ僅少ナ爲ニ生活保護法ニ依ツテ救済ヲ受ケナケレバナラヌト云フヤウナ人デゴザイマスレバ、生活保護法ニ依ツテ救助ヲスルト思ヒマス

○男爵毛利元良君 重ネテ伺ヒマスガ、サウ云フ場合ニ恩給ヲ先ニ順位トシテ支給サレテ、ソレカラ支給サレルベキ扶助料ノ額ノ不足ヲ差引イタモノヲ扶助料ノ方カラ出サレルト思フノデアリマスガ、私伺ヒタイノハ、恩給ハ恩給トシテ出シテ、ソレカラ別ニ尙相當生活ガ困難ダカラ、扶助料ノ方カラモ出ス、恩給ガ非常ニ少イ、例ヘバ月ニ五十圓、ソレデハ到底生活ガ出来ナイカラ恩給ヲ貰ハナイ場合ニハ月額三百圓ノ保護法ニ依ル救助ヲ受ケルノデアリマス、サウスルト二百五十圓ヲ扶助料カラ支給スルト云フヤウナ關係ニナルノデゴザイマスガ

○政府委員(三橋則雄君) 御話ノヤウナ風ニ控除サレマスコトニナルト思ヒマス

○永井松三君 甚ダ素人ノ質問デ、御尋スル價值ガアルカドウカ存ジマセヌガ、毎月國庫納金ヲスルノハ、一種ノ保險料ヲ拂ツテ居ルヤウナモノデアツテ、ソレニ對シテ恩給ハ貰フト云フ觀念カラ行キマス、現職ニ居ツタ軍人ガ既メテモ恩給ヲ貰ハナイ場合ハ、過去ニ於テ、國庫納金ト云フモノハ拂ツタガ、ソレニ對シテ代償ト云フモノ

ガナイ譯デス、恩給ヲ貰ツテ居ル人ハ、多額少額違ヒガアリマセウガ、幾分報償ヲ受ケタ譯デアアルガ、現職デ辭メタ軍人ハ唯國庫納金ヲシタト云フデケデ、恩給ノ恩典ニ浴シテ居ラレヌ、サウ云フコトニナリマス、此ノ恩給全體ヲ廢メテシマツタ方ガ宜イデヤナイカト云フ議論ガ出タヤウナ時ニ、或人ノ議論ハ、既ニ國庫納金ヲシテ居ツテ、一方ソレデケノモノヲ出シテ居ル、デアルカラ國庫ノ方モ恩給ヲ廢メタル譯ニイカヌデヤナイカ、サウ云フ議論ヲシタ人ガアリマスガ、ソレガ果シテドノ位ノ力ガアツタカ、ソレハ知リマセヌガ、サウ云フ風ヲ觀念ト云フモノハ、恩給ト云フ制度ニ付テ起リ得ルノデゴザイマスガ、起リ得ナイノデスカ、國庫納金ヲ一種ノ保險料ト見テ、ソレニ對シテ代償ガナクテハナラヌ、マア契約ト云フヤウナコトニナル、サウ云フコトハ、恩給制度カラ云ツテアルノデスカ、ナイノデスカ

○政府委員(三橋則雄君) 國庫納金ハ、一種ノ保險料デアアルカ、ナイカト云フ風ヲ御尋デアリマスガ、國庫納金ノ性格ハ、國庫納金ガドウシテ今日設ケラレテ來テ居ルカト云フ沿革的ナコトモ矢張り老ヘナケレバナラヌデヤナイカト思ヒマスガ、此ノ國庫納金ハ實ハ現行ノ恩給法ガ大正十二年ニ出來マシタノデゴザイマスガ、其ノ際ニ色々議論サレタノデアリマス、恩給法時代ニ於キマシテモ、國庫納金ト云フ風ナ制度ガゴザイマシタ、ソレハ現在ノ恩給法ノ前身デゴザイマスル官吏遺族扶助法ト云フノガゴザイマシテ、其ノ中ニ國庫納金ニ關スル規定ガアツタノデアリマス、處デ其ノ官吏遺族扶助法ノ國庫納金制度ト云ヒマスノハ、明治

ノ初メ「フランス」ノ遺族扶助料制度ト云フモノヲ模倣シテ作ツタモノト、斯ウ云ハレテ居ルノデアリマス、「フランス」ニ於キマシテハ、或ハ永井委員御承知カト思ヒマスガ、國庫カラ一定ノ補助金ヲ出シテ、サウシテ官吏ガ金ヲ出シ合ツテ、一ツノ基金ヲ作リマシテ、其ノ基金デ以テ、遺族ニ遺族扶助料ヲ出シテ居ツタ、其ノ制度ヲ其ノ國庫納金ト居フヤウナモノヲ作ツタ、斯ウ云フ風ニ開イテ居リマスガ、大正十二年ノ恩給法ノ改正ノ際ニ於キマシテ、此ノ國庫納金ヲ存続スルカドウカニ付キマシテ色々議論ガアリマシタサウデゴザイマスガ、結局其ノ繼續ケルコトニナリマシテ、今日ニ至ツテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、私個人ノ考ト致シマシテハ、保險料デアナイト思ツテ居リマス、國家ニ對スル官吏ノ御奉公ト云ツタヤウナ性質ノモノデアナイカト思ツテ居リマス

○長島銀藏君 勅令六十八號ニ謳ツテアリマスノデ、何トモ致シ方ナイ次第デアリマスガ、長年ノ間將來ノ恩給ヲ引當ニシテ、サウシテ御勤メニナツタ、老後ハ何トカ恩給ニ依ツテ安ンジテ暮シテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘタ方モ相當アラウト思ヒマス、殊ニ侵略戰爭デアルト云フ日華事變後ノコトハ兎モ角ト致シマシテ、ソレ以前ニ既ニ退職シタヤウナ方モ相當アルト思ヒマス、サウ云フ方ハ恐ラク恩給ヲ引當テニ生活ヲサツテ居ツタト思ヒマスガ、今回サウ云フ支給サレルモノガ一切ナクナツタト云フ點ハ、本當ニ御氣ノ毒ノ次第ト考ヘルノデアリマスガ、サウ云フ方ニ對シテ何カ優遇方法ナリ、恩典ナリト云フモノヲ、恩給以外

ニ何カサウ云フコトヲ政府トシテハ、御考ニナツテ居ラナイデセウカ、御尋ネ致シタイト思ヒマス

○政府委員(三橋則雄君) 軍人デアツタ、又ハ軍人ノ遺族デアツタガ故ニト云フ特別ナル取計ヲヒスルヤウナコトハ、今ノ所ハ考ヘラレテ居リマセヌト、ソレハ法令ニ依ツテ已ムヲ得ナイト云フコトデアリマスケレドモ、之ヲ又明朗ナ心持ヲ以テ社會道德ヲ守ツテ行ケルヤウニト、斯ウ云フ風ニ考ヘタ場合ニ、ソレハ一方のナ考ヘ方デアルト思ヘル譯デス先日ノ御話ニモ臺灣ダトカ、朝鮮ニ居ラレテ現在統治權ガ行使出來ナイ、サウ云フ地域ニ住ンデ居ル人ハ御氣ノ毒ダト云フコトデ、日本ノ恩給法ヲ其ノ儘サウ云フ方ニ持ツテ行クト、諸リ御氣ノ毒デアルト云フコトニ付テハ是ハ變リハナイト思フ譯デス、荷且ニモ明治大帝ノ聖慮ヲ奉體シテ義勇公ニ奉ジト云ツタヤウナ考ヘ方デアリマスガ、同時ニ又サウ云フ考ヘ方デ働イテ來タ人ハ、此ノ「ボツダム」宣言ニアリマスコト依リ已ムヲ得ナイト云フヤウナ次第カモ知レマセヌケレドモ、國家ニ忠義ヲ盡ストトシテヤツテ來タ譯デアリマスカラ、何トカ優先的ニ、國家トシテハ何等カノ恩典ヲ與ヘテアルノガ然ルベキコトカト私ハ考ヘル譯ナンデス、御氣ノ毒デアルト云フデケデ、唯同情ダケシテシマツテモ、其ノ方々ニ對スル本當ノ同情ノ心ハ形ニ於テ現レナイト思フノデスカ、政府御當局トシテハ何トカ御考ニナツタラ如何デゴザイマスガ

○政府委員(三橋則雄君) 軍人恩給、

軍人遺族扶助料ヲ貰ツテ居ラレタ方デ、サウ云フ恩給ヲ貰ヘナクナツタ方、又貰フベカリシ人デサウ云フ恩給ヲ貰ヘナクナツタ人々ニ對シマスル私達國民トシテノ同情心ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ外ノ方ト同ジヤウニ心カラ同情致シテ居ルノデアリマシテ、何トカ出來ルコトナラ致シタイト考ヘマシテ、軍人恩給廢止ノ覺悟ニ接シマシタ當時、關係當局トモ相談シ、關係ノ向ニモ色々了解ヲ求メマシテ、何トカ救済ノ方法ヲ講ジタイト思ツテ骨ヲ折ツテ參リマシタノデスカ、色々事情デ其ノ實現ガ出來ナクナツテ今日ニ至ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、其ノ點ハ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○長島銀藏君 將來ニ於テハ何トカ御考ヘニナルヤウナ御積リハゴザイマセヌデスカ、今ハ已ムヲ得ナクテ出來ナイト云フコトデアアルカモ知レマセヌデスカ、特ニ道義ト云フモノヲ盛ンニ振替シテ國民ヲ指導シテ行カレレバナラナイト云フヤウナ考ヘ方ヲ荷且ニモ持ツテ居ルトスルナラバ、私ハ將來其ノ道義ト云フモノヲ廢棄セシメナイト云フデケノ働キシカナイカモ知レマセヌケレドモ、國家トシテハ斯ウ云フ方面ニ具體策ヲ考ヘテ置カレル必要ガアルトツク、思ヒマス、今ハ已ムヲ得ナイカモ知レマセヌガ、將來ノ問題ニ付テハ餘程御考慮ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

○委員長(男爵周布兼道君) 長島委員ニ伺ヒマスガ、只今ノハ御質問デゴザイマスガ、御希望デゴザイマスガ、御質問ノヤウニモ思ハレルシ、御希望トシテ仰シヤツタヤウニモ思ハレマス、御質問ナラ政府委員ノ御答ガアリマスガ

○長島銀藏君 今ハ方法ハナイト云フ

○政府委員(三橋則雄君) 軍人恩給、

○長島銀藏君 今ハ方法ハナイト云フ

御話アリマシタガ、將來道義ト云フコトヲ御考ニナラバ、何トカ恩典ナリ、優遇ナリノ方法ヲ御考ヘニナツテ見タラドウカト云フコトデス

○委員長(男爵周布兼道君) 御質問ナデスネ

○長島銀藏君 サウデゴザイマス

○政府委員(三橋則雄君) 私ハ恩給局ノ局長トシテノ立場ニ於キマシタガ、御答ヘスルコトニ致シマシテ、又其ノ外ノ關係ノ當局カラ御答ガアルカモ知レマセヌガ、私ト致シマシテハ、今ノコトハ考ヘテ居リマスガ、先ノコトハ考ヘテ居リマセヌ

○長島銀藏君 能ク分リマシタカラ、私ノ質問ハ此ノ邊デ止メマス

○伯爵眞平昌恭君 私マダ一、二伺ツテ見タイト思ヒマス、簡單ニ伺ヒタイノデアリマス、逐條ノ質問スルノト同様デアリマスガ、例ヘバ此處ニゴザイマスヤウナモノデ、第二十六條ニ致シマシテモ、本法ニ於テ退職トハ左ノ各號ノ一ニ該當スルコトヲ謂フトアリマシタラ、消シテマツテ、又新ラシイ第二十六條ニ同ジモノヲ書イテアリマス、ソレハ何モソナコトヲシナクテモ宜イデヤナイカト考ヘマス、而シテ又、各條文ニ於テモ勅令ガ削除シタルモノモアリマスシ、又サウデナク其ノ儘ニナツテ居ルモノモアル、尤モ軍人、其ノ他軍人ニ對スルモノハ勅令ヲ削除シテ居ルト思ヒマスガ、例ヘバ遠洋航海ノ如キモノハ勅令ヲ以テ定ムルト云フコトニナツテ居リマスケレドモ、是ハ先程甚ダ相濟マヌコトデアリマシタガ、非公式ニ御意見ハ承ツテ分ツテ居リマスガ、是ハ公式ニ一ツ是ダケハ殘シテ置イテハドウカ、ト云フノハ此ノ勅令ト云フモノニ付キマシテ、勅令

ハ、何レ新憲法ガ出來マスト、ソレニ依ツテ陛下ノ御立場モ色々變ラレルノデ、勅令ト云フ文字ハ將來ナクナツテシマフノデヤナイカ、今ノ處、已ムラ得ズ殘シテ居ルヤウニ思ハレルガ、此ノ勅令ト云フ文字ニ付キマシテハ、適當ノ機會ニ於テ、ソレヲ各種ノ法律ト撰フ一ニシテ、早ク勅令ト云フヲ取リタイト考ヘマスガ、其ノ點ニ付テハ今日ヨリ既ニ御考ヘニナツテオイデニナリマスルカ、此ノ點ヲ簡單ニ承リタイト思ヒマス、ソレカラ今一ツハ、斯ウ云フコトモゴザイマスルガ、此ノ點ハドウナルノデゴザイマセウカ、例ヘバ第四十八條ニ於テ「公務員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ公務ノ爲傷損ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタルモノト看做ス」トアリ、一號ニ「勅令ヲ以テ指定スル地域」トアルガ是ハ海外ノコトノミカラ見テノ地域デゴザイマスルカ、然ラバ二號ニ於テ、公務員デモ文官ニ等シイモノデアツテ、國內ニアツテ同様ニ之ニ該當スルモノニアリマシテハ、何モ此處ノ勅令云々ト云フモノヲ削ラナクテモ宜イノデヤナイカト思ヒマス、其ノ點ヲ一ツト、今一ツハ、簡單ニ承リマスルコトハ、第六十二條ノ條項ノ中ニゴザイマスルガ、「實業補習學校」ト云フモノヲ削除シテシマツタノデスガ、是ハ一體ドウ云フ譯デゴザイマセウカ

○政府委員(三橋則雄君) 第一點ノ勅令ニ關スル件デゴザイマスガ、是ハ今ノ法律ハ現在ノ憲法ノ下ニ於キマスル法律デゴザイマスルノデ、斯ウ云フ風ニ勅令ハ勅令トシテ其ノ儘ニナツテ居リマスルガ新憲法ガ制定サレマスレバ、新憲法ノ下ニ於テハ、今御話ノヤウナコトハ十分考ヘテ適當ニ處置シタ

イト考ヘテ居リマス、四十八條ノ第一項第二號ノ「勅令ヲ以テ指定スル地域ニ於テ又ハ」ヲ削リマシタノハ、是ハ戰地ヲ考ヘマシテ削ッタノデゴザイマス、ソレカラ第六十二條ノ「實業補習學校」是ハナクナリマシテ今ゴザイマセヌ、ソレデ削リマシタノデゴザイマス

○伯爵眞平昌恭君 私ハモウ結構デゴザイマス

○委員長(男爵周布兼道君) 毛利委員ニ伺ヒマスガ、只今大藏政務次官ガ御出席デゴザイマスガ、アナタノ御質問ハ政務次官デ宜シウゴザイマスカ

○男爵毛利元良君 昨日御話ガゴザイマシタ旅費ナドヲ封鎖カラ出シ得ルト云フコトデゴザイマスガ、此ノ外ニ委員トシテマア昨日申上デヤウナ、憲法ノ精神ヲ説イテ歩クトカ、身體ガ歩クバカリデナク、サウ云フ思想ヲ出版ニスルドカ云フ風ナコトニ付テノ場合ニハ、マア封鎖カラ支拂ヒ得ルカドウカ、サウ云フコトニ付キマシテ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(上塚司君) ソレハ其ノ場合々々ニ特別ニ銀行局宛ニ願ヲ出シテ戴キマシテ、ソレニ依ツテ許可致シテ居リマス

○男爵毛利元良君 サウ致シマスト、公務ニ準ズル、サウ云フヤウナ旅行ノ場合、一々銀行局ハ參リマシテ、御願ヒスルノデゴザイマセウカ、何カ金融機關ガケテ通ジマシテモ申請スレバ御取計ヲ戴ケマセウカ、其ノ點ニ付テ御伺ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(上塚司君) ソレハ矢張り銀行局ニ出シテ戴クコトニナツテ居リマス

○永井松三君 甚ダ手續ノ些細ナコト

ニナリマスガ、其ノ場合ニ、議員ガ直接ニ銀行局ヘ出シマスカ、ソレカラ貴族院事務局ニ於テ仲介ノ勞ヲ取ツテ呉レルト云フヤウナコトニナリマスカ、其ノ邊ノ何カ手續ニ付テノ御考ハ出來テ居ルノデアリマスカ

○政府委員(上塚司君) サウ云フ場合ハ、議會カラ特派スルト云フヤウナ公職又ハ公務ニ準ズル者デアリマシタラバ、書記官長カラ便宜イ管デアリマス、大體今日迄サウ云フコトニ對スル例ガマダ出テ居リマセヌ、ソレカラサウ云フ問題ニ付テ、其ノ場合々々ニ依ツテ考慮シテ行キタイト考ヘテ居リマス

○委員長(男爵周布兼道君) 政務次官ニ一ツ御伺ヒシマス、前回ニ御話ガゴザイマシタガ、マダ了解シ兼ねマスノデモウ少シ伺ヒタイト思ヒマス新聞デ出ス四十圓ノ特別手當申シマスカ、滞在日當ト申シマスカ、マダ名目ガ決マラナイヤウデゴザイマスガ、大體今御話ヲ觀テ中デアル、今考案中デアルト云フ御話デアリマスガ、後デ勅令ヲ發布スルト云フ御話デアリマスガ、マアサウ致シマスト云フト、本議會中ニハ出來ヌ譯デゴザイマスネ、マダ日ニチガ掛ルノデゴザイマスネ、尙此ノ點ハ御覽メ中デハゴザイマスケレドモ、實際ドウ、マア言葉ハ惡ウゴザイマスガ、實際出ル時ニ決マルモノデゴザイマセウカ、ソレトモマダ全然未知數ナノデゴザイマセウカ、ドチラデゴザイマセウカ

○政府委員(上塚司君) 只今法制局ノ方ヘ手續中デゴザイマシテ、ソレガ濟メバ閣議ニ掛ケルコトニナツテ居リマス、無論此ノ議會中ニ發令ニナルコトデゴザイマス

○男爵毛利元良君 只今ノ御話ノ特別ノ手當ノ件デアリマスガ、御支給ニナリマスノハ會期中ト云フ御話デゴザイマシタガ、是ハ召集日カラ起算サレアルノデゴザイマセウカ、開院式ノ日カラデモ起算サレルノデゴザイマセウカ

○政府委員(上塚司君) 其ノ點ハマダ決マツテ居リマセヌ、實ハ今回ノヤウニ召集ガアリマシテカラ開院式ガアル迄ニ隨分長イ期間ガアリマシタリシマシテ、特別ノ場合ガアリマスノデ、サウ云フコトニ付テマダハツキリト決メテ居リマセヌ、何レ其ノ細目ニ付テハ、勅令ノ發布ト同時ニハツキリスルヤウニ致シマス

○慶松勝左衛門君 是ハ私頼マレテ聴イテ呉レト云フ話デアリマスガ、歳費ヲ受ケザル議員ニ對スル手當其ノ他ハドウ云フ工合ニ取扱フノデスカ

○政府委員(上塚司君) 歳費ヲ受ケザル議員ト云フノハ此ノ貴族院ニ於ケル公侯爵ノコトデアリマスカ

○慶松勝左衛門君 サウデス

○政府委員(上塚司君) 是ハ矢張り一昨日モ申上デマシタ通りニ、今回ハ差上ゲルコトニナリマス、均霽スルコトニナリマス

○慶松勝左衛門君 サウスルト手當、日常、總テ他ノ者ト同一ノ取扱ニナルノデスネ

○政府委員(上塚司君) 左様デゴザイマス

○慶松勝左衛門君 有難ウゴザイマシタ

○委員長(男爵周布兼道君) 他ニ御質問ハゴザイマセヌカ

○子爵永井連邦君 地方ニ居リマシテ、サウシテコチラニ出テ來ル者ハ、今

迄ハ一日四十圓ノ割デ政府カラ出シテ居
ツタノデスガ、今度ハ日當ト云ヒマス
カ、四十圓ト御決リニナツタヤウデア
リマスケレドモ、地方ニ滞在シテ居ル

議員ノ日當モ矢張り同一ナンデアリマ
セウカ、或ハ今度四十圓ト云フノガ七
十圓一日ニ出スコトガ出來ルト云フコ
トナノデアリマセウカ、矢張り地方ノ
議員モ在京ノ議員モ同ジ手當デゴザイ

マセウカ其ノ點ヲ伺ヒタイ、サウシテ
又只今毛利男爵カラ御質問ガアリマシ
タガ、議會ノ會期ハ召集日ノ前日カ
ラ、終ツタ翌日迄ト云フコトデ豫算
カラ出シテ居ルノデセウカ、其ノ點ナ
ドヲチヨット伺ヒタイと思ヒマス

○政府委員(上塚司君) 日當ノ方ハ在
京ノ人モ地方カラ出テ來ル人モ同ジデ
アリマス、ソレカラ封鎖預金ノ出ス限
度ハ一日七十圓デアリマス、是ハ在京
者モ地方ノ人モ同ジデアリマス

○子爵永井直邦君 有難ウゴザイマシ
タ、私ノ質問ハ終リマス

○委員長(男爵周布兼道君) 他ニ御質
問ハゴザイマセヌカ、ソレデハ御質問
ガナイヤウデゴザイマスカラ、引續キ
討論ニ入リタイと思ヒマス、二案ヲ一
括致シマシテ議題ニ供シタイと思ヒマ
ス、御發言ノ方ハ此ノ際願ヒタイと思
ヒマス

○長島銀藏君 「恩給法の一部を改正
する法律案」ヲ原案通り承認致スニ付
キマシテハ、先程申上ゲタヤウナ、御
氣ノ毒ナ方ヲ何トカ將來優遇方法ヲ講
ジテ貰ヒタイト云フコトヲ、條件トス
ルモ變デスガ、サウ云フコトニシテ終
了サセテ戴キタイと思ヒマス

○委員長(男爵周布兼道君) 他ニ御發
言ハアリマセヌカ、他ニ御發言ハナイ
ヤウデアリマスカラ採決ニ移リタイト

思ヒマス、然ラバ「恩給法の一部を改
正する法律案」是ノ採決ヲ致シマス、
賛成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス

(議員起立)

○委員長(男爵周布兼道君) 全會一致
ト認メマス、次ハ「帝國議會各議院の
議長、副議長及び議員の手當に關する
法律案」ニ付キマシテ採決ヲ致シマス、
賛成ノ諸君ノ御起立ヲ請ヒマス

(議員起立)

○委員長(男爵周布兼道君) 全會一致
ト認メマス、是ニテ本委員會ハ終了致
シマシタ、散會致シマス

午後二時三十七分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵周布 兼道君
副委員長 子爵梅溪 通虎君
委員

侯爵廣瀨 忠隆君
侯爵嵯峨 實勝君
伯爵奧平 昌恭君
子爵永井 直邦君
子爵牧野 忠永君
永井 松三君
慶松勝左衛門君
寺尾 博君
男爵平山洋三郎君
男爵毛利 元良君
大木 操君
徳田 昂平君
長島 銀藏君

政府委員

内閣事務官 三橋 則雄君
大藏政務次官 上塚 司君